

# 幸手市ボランティア・市民活動センターだより

## 傾聴ボランティア養成講座を開催しました

最近、「傾聴ボランティア」という言葉が、新聞などいろいろなところで紹介されるようになってきました。

不安や寂しさを抱え、話相手がほしいと思っている高齢者の気持ちに寄り添い、お話を聴かせていただくボランティア活動が行われております。話し相手は、ボランティア自身が話をするのではなく、「よく相手の話を聴くこと」で聴き上手になることが必要条件です。

幸手市社会福祉協議会では、今年度、傾聴ボランティアを養成する講座を開催しました。

講座は、傾聴の講演会、実技講座に分け実施し、延べ94人の方が受講されました。

### 傾聴の講演会



### 傾聴の実技講座



幸手市内では、「幸手傾聴ボランティア・ピース」が傾聴のボランティア活動をしております。

「社協さって市第57号」（10月1日発行）でボランティアグループの紹介を行いました。グループの活動については、幸手市社会福祉協議会にお問い合わせください。

## 第16回 ボランティアグループ紹介

### 食育ボランティア・すこやか「食」の会



食品工場や農場見学のひとコマです

立ち上げのきっかけは、ニュースや身近に起こる出来事が増えて来たことでした。

「朝ごはんを食べない子どもが増え、心と身体がむしばまれている。」－危機感を抱いた者同士が集まり、話し合いを重ねるうちに、出来る事から始めようと、食のための環境づくりを目指してスタートしました。

平成18年9月に発足し、現在の会員は15人。親と子どもを対象に、料理講習会、食品工場見学、農場見学・体験、行事食の学習など、食に関する“ふれあいの場”を提供することで、参加する人には関心を持っていただいています。

そして、子ども達に手を差し伸べてくれる地域との交流は欠かせません。調理実習では季節の食材にこだわるため、“地産地消”で農家の皆さんに助けられています。

